平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月25日

上場会社名　株式会社 千趣会　　上場取引所　東
コード番号　8165　URL　http://www.senshukai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田邉　道夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画本部長　(氏名) 星野　裕幸　TEL 06-6881-3220

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日　配当支払開始予定日　平成25年9月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	72,736	△1.7	1,626	113.3	1,995	69.1	1,241	35.8
24年12月期第2四半期	74,031	6.5	762	△68.2	1,180	△55.2	914	△57.8

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　2,761百万円　(87.3%)　24年12月期第2四半期　1,474百万円　(△45.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	28.67	―
24年12月期第2四半期	21.12	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	91,296	47,260	51.8	1,091.25
24年12月期	92,887	44,932	48.4	1,037.48

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　47,260百万円　24年12月期　44,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年12月期	―	12.00			
25年12月期(予想)			―	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,500	△0.9	4,000	89.6	4,400	59.1	3,500	72.5	80.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	47,630,393 株	24年12月期	47,630,393 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	4,321,636 株	24年12月期	4,321,445 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	43,308,905 株	24年12月期2Q	43,309,253 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成25年１月１日～平成25年６月30日）におけるわが国経済は、新政権による経済対策への期待感から株価回復、円高の是正が進み、輸出関連企業を中心に景況感が回復しつつあります。しかしながら今後の成長戦略への不透明感及び欧州債務危機や中国経済の減速懸念等もあり、国内景気と個人消費は先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、今年度を最終年度とした「中期経営計画」の目標達成に向け、グループ一丸となって取り組んでおります。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、727億36百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

利益面につきましては、通信販売事業における売上総利益率の改善や販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は16億26百万円（前年同期比113.3%増）となりました。

経常利益は為替差益等により19億95百万円（前年同期比69.1%増）、四半期純利益は固定資産除売却損等により12億41百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

セグメント別の概況

（通信販売事業）

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第２四半期連結累計期間の売上高は、カタログ事業における４月度の気温低下による春夏商品の売上鈍化と頒布会事業の売上減少により、結果659億円（前年同期比1.4%減）となりました。

利益面につきましては、バーゲン・処分販売の早期化による商品評価損の減少等により、売上総利益率は改善いたしました。また出荷効率化による物流関連費用の低減及びカタログ印刷用紙の見直しによる印刷費の削減等により、営業利益は13億44百万円（前年同期比245.6%増）となりました。

① カタログ事業

当第２四半期連結累計期間の売上高は618億26百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

② 頒布会事業

当第２四半期連結累計期間の売上高は40億74百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

（ブライダル事業）

ハウスウェディングを中心としたブライダル事業の当第２四半期連結累計期間の売上高は、挙式・披露宴の組単価は上昇いたしましたが、挙式組数の減少により47億８百万円（前年同期比0.6%減）となりました。また営業利益は、65百万円（前年同期比72.5%減）となりました。

（法人事業）

法人向けの商品・サービスを提供する法人事業の当第２四半期連結累計期間の売上高は、18億87百万円（前年同期比0.3%増）となりました。また営業利益は、２億12百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

（その他）

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と店舗でのペット用品の販売を行うペット事業を合わせた、その他の事業の当第２四半期連結累計期間の売上高は、ペット事業の撤退により２億39百万円（前年同期比58.6%減）となりました。また営業利益は、４百万円（前年同期は43百万円の営業損失）となりました。

（注）前第３四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については、当該変更を反映した前年同期の数値を用いております。詳細につきましては「３．四半期連結財務諸表（６）セグメント情報等」をご参照ください。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて15億91百万円減少し、912億96百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ17億51百万円減少し、444億96百万円となりました。これは、現金及び預金が５億40百万円、受取手形及び売掛金が２億68百万円それぞれ増加した一方で、未収入金が18億82百万円、その他が８億22百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。また固定資産は、有形固定資産が４億48百万円、無形固定資産が３億88百万円それぞれ減少した一方で、投資その他の資産が９億97百万円増加したことにより前連結会計年度末に比べ１億60百万円増加し、467億99百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ34億94百万円減少し、335億67百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が25億10百万円、短期借入金が10億９百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ４億24百万円減少し、104億68百万円となりました。これは、その他が９億７百万円増加した一方で、長期借入金が９億85百万円、社債が３億50百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億28百万円増加し、472億60百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が８億96百万円、繰延ヘッジ損益が５億36百万円、利益剰余金が４億86百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。この結果、自己資本比率は51.8％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は79億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して５億40百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は28億57百万円の収入（前年同期比12億60百万円の収入増）となりました。主なプラス要因は、その他の流動資産の減少額26億53百万円、税金等調整前四半期純利益14億12百万円、減価償却費12億93百万円であり、主なマイナス要因はその他の流動負債の減少額16億55百万円、仕入債務の減少額13億３百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は５億11百万円の収入（前年同期は18億13百万円の支出）となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の償還による収入９億円、有形固定資産の売却による収入４億20百万円であり、主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出５億53百万円、無形固定資産の取得による支出３億７百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は28億43百万円の支出（前年同期比６億70百万円の支出減）となりました。主なマイナス要因は、長期借入金の返済による支出12億44百万円、短期借入金の減少額10億円、配当金の支払額４億30百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、上期と同様に下期も売上高の減少が見込まれることから、下記のとおり修正いたしました。

平成25年12月期連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成25年２月７日発表）	153,000	4,700	5,000	3,700	85.43
今回修正予想（B）	144,500	4,000	4,400	3,500	80.82
増減額（B－A）	△8,500	△700	△600	△200	―
増減率（%）	△5.6	△14.9	△12.0	△5.4	―
（ご参考）前期実績 （平成24年12月期）	145,750	2,109	2,765	2,029	46.86

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,452	7,993
受取手形及び売掛金	6,663	6,932
商品及び製品	16,644	16,757
未収入金	9,951	8,069
その他	5,824	5,002
貸倒引当金	△289	△258
流動資産合計	46,248	44,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,050	13,764
土地	11,908	11,169
その他（純額）	2,215	2,791
有形固定資産合計	28,174	27,725
無形固定資産		
のれん	2,278	2,202
その他	3,995	3,683
無形固定資産合計	6,273	5,885
投資その他の資産		
投資有価証券	5,950	6,887
その他	6,558	6,618
貸倒引当金	△317	△317
投資その他の資産合計	12,190	13,188
固定資産合計	46,639	46,799
資産合計	92,887	91,296

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,073	5,563
短期借入金	3,405	2,396
1年内償還予定の社債	700	700
ファクタリング未払金	13,993	14,008
未払法人税等	207	205
販売促進引当金	307	550
その他	10,373	10,142
流動負債合計	37,062	33,567
固定負債		
社債	1,850	1,500
長期借入金	6,993	6,007
退職給付引当金	34	37
その他	2,015	2,922
固定負債合計	10,892	10,468
負債合計	47,955	44,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,359	20,359
資本剰余金	21,038	21,038
利益剰余金	13,581	14,067
自己株式	△2,775	△2,776
株主資本合計	52,203	52,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△578	317
繰延ヘッジ損益	438	975
土地再評価差額金	△7,041	△6,720
為替換算調整勘定	△89	△2
その他の包括利益累計額合計	△7,271	△5,429
純資産合計	44,932	47,260
負債純資産合計	92,887	91,296

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	74,031	72,736
売上原価	38,999	37,222
売上総利益	35,031	35,513
販売費及び一般管理費	34,269	33,887
営業利益	762	1,626
営業外収益		
受取利息	25	34
受取配当金	82	74
為替差益	232	107
債務勘定整理益	56	110
その他	229	207
営業外収益合計	626	535
営業外費用		
支払利息	121	108
その他	87	57
営業外費用合計	208	166
経常利益	1,180	1,995
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	22	49
特別利益合計	23	50
特別損失		
固定資産除売却損	94	579
減損損失	－	53
特別損失合計	94	633
税金等調整前四半期純利益	1,109	1,412
法人税等	195	170
少数株主損益調整前四半期純利益	914	1,241
四半期純利益	914	1,241

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	914	1,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	896
繰延ヘッジ損益	436	536
為替換算調整勘定	10	62
持分法適用会社に対する持分相当額	2	24
その他の包括利益合計	559	1,519
四半期包括利益	1,474	2,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,474	2,761
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,109	1,412
減価償却費	1,409	1,293
減損損失	－	53
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△49	△30
販売促進引当金の増減額（△は減少）	△49	242
受取利息及び受取配当金	△107	△109
支払利息	121	108
為替差損益（△は益）	△333	△65
固定資産除売却損益（△は益）	92	578
投資有価証券売却損益（△は益）	△22	△49
売上債権の増減額（△は増加）	△56	△255
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,152	△24
その他の流動資産の増減額（△は増加）	1,118	2,653
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,219	△1,303
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△923	△1,655
その他	430	138
小計	1,672	2,988
利息及び配当金の受取額	107	109
利息の支払額	△126	△112
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△55	△126
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,597	2,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,595	△553
有形固定資産の売却による収入	1	420
無形固定資産の取得による支出	△452	△307
投資有価証券の取得による支出	△20	－
投資有価証券の売却による収入	141	98
投資有価証券の償還による収入	－	900
その他	111	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,813	511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,500	△1,000
長期借入れによる収入	450	250
長期借入金の返済による支出	△711	△1,244
社債の償還による支出	△386	△350
配当金の支払額	△303	△430
その他	△62	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,513	△2,843
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	14
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,722	540
現金及び現金同等物の期首残高	7,500	7,452
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	181	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,958	7,993

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通信販売事業	ブライダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	66,832	4,738	1,881	73,452	579	74,031	－	74,031
セグメント間の内部売上高又は振替高	295	－	31	326	43	370	(370)	－
計	67,127	4,738	1,912	73,778	622	74,401	(370)	74,031
セグメント利益又は損失(△)	389	239	177	806	△43	762	0	762

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、店舗でのペット用品の販売を行うペット事業であります。
２．セグメント利益又は損失の調整額０百万円は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な発生及び変動はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通信販売事業	ブライダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,900	4,708	1,887	72,496	239	72,736	－	72,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	319	－	18	338	84	423	(423)	－
計	66,220	4,708	1,906	72,835	324	73,159	(423)	72,736
セグメント利益	1,344	65	212	1,623	4	1,627	△1	1,626

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、店舗でのペット用品の販売を行うペット事業であります。
２．セグメント利益の調整額△１百万円は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な発生及び変動はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項
前第３四半期連結会計期間より、連結グループ内での事業譲渡に伴い、従来「その他」に区分していた事業の一部について「通信販売事業」へ報告セグメントの変更を行っております。なお、前第２四半期連結累計期間の報告セグメントは、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。